

## 第55期事業年度事業計画

平成28年前半は国際的な経済要因もあり、比較的厳しい状況で推移しています。

4月から、いよいよ一般家庭も含めた電力自由化が開始されました。電気代に関する関心が高まることは業界にとってはフォローの風になります。そして昨年12月にパリで開催されたCOP21は温暖化対策CO2削減を全世界で推し進める事から、HEMSの導入やZEHに向けた取り組みが強まり、住宅エコポイントや省エネ補助金などの活用も含めて更なる事業の拡大が見込まれます。その為には、家電製品にプラスして新たな商材を取り入れ、世の中の変化に対応していくことが大切であり、「省エネ・創エネ・蓄エネ」、「家まるごと」事業、健康関連事業等にも力をいれることで成長できるものだと思います。

「働かざる者食うべからず」の時代から今は「勉強せざる者食うべからず」の時代、「研修いのち」の考えを持ち、本年も引き続き、スマートライフコンシェルジュのシルバー研修で知識武装し、お客様の快適生活を提案できる店になって行きましょう。

京都における再生可能エネルギーの普及拡大は急務であり、京都市も本年度いち早く太陽エネルギーフェアを“みやこめっせ”において11月5日(土)に開催すると決定、何としても太陽光発電や太陽熱ヒーターなど再生可能エネルギーの普及をはかって行きたいと計画をしています。全てのメーカーと組合員店が力を結集して普及率を押し上げて行けるようにご協力をお願い申し上げます。

秋に予定している組合員あげでの「一人暮らし高齢者宅巡回訪問活動」は大きな社会的使命として支部単位での取組を推進してまいります。結果としてお客様に喜ばれ、信頼され、新たな商売にも結びついてくる事になります。

最大の懸案の事業承継は中小企業団体中央会や京都市、学識経験者、コンサルタント、流通協、工事組合など多くの援軍を得て実のある形に進んできています。ご高齢のお客様を路頭に迷わせない為にも「親切な町のでんきやさん」を減らさない。まずは協業活動からスタートと考えています。該当の組合員各位には是非ともご協力をお願いいたします。

本年は出資組合に移行した初年度で大変重要な年であります。「長期あんしん保証」制度を軌道に乗せて組合が未来永劫に隆隆と存続し続けるため執行部として緊張感を持って組合運営に邁進する決意でございます。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年度の重点取組みといたしましては

- ① 「長期あんしん保証」制度の円滑な運営と利用促進
- ② 京都市主催の太陽エネルギーフェアの成功に向けて11月5日（みやこめっせ）
- ③ 環境問題、地球温暖化対策の取組強化（ZEHにむけて研究研修）
- ④ スマートライフコンシェルジュ研修の受講推進と認定のぼり旗活用
- ⑤ 事業承継への取組を開始（組織作りと協業活動）
- ⑥ 全国生活協同組合のメリット有る火災共済制度に全組合員加入促進
- ⑦ 家電ガイドライン申告(不当廉売・差別対価)で家電流通の正常化
- ⑧ メーカー家電流通・サービス会社・消費者との懇談会の開催
- ⑨ 秋の高齢者宅安全点検月間として巡回活動（リコール商品発見も行う）
- ⑩ 青年部活動の推進（KSK・全国大会への参加）
- ⑪ 奥様研修会の開催
- ⑫ 家電旅行会（お客様との絆づくり）実施店の拡大と増員
- ⑬ LED照明器具全国キャンペーンでの集中取り組み
- ⑭ 4Kテレビ・ハイレゾオーディオ等最新デジタル機器の取組強化
- ⑮ 「家まるごと」、リフォームと住宅関連商品・健康関連商品の取組強化
- ⑯ 儲かる決起研修事業で技術力・提案力の強化(協力会社による展示即売会を実施)
- ⑰ 支部活動の活性化＝支部役員会の年3回以上の実施とブロック会議開催
- ⑱ 家電公正取引協議会、シンボルマークの店頭掲示と活用
- ⑲ NHK. BS取次・NTT回線接続取次
- ⑳ 4団体(京都電気消防設備団体連絡協議会)及び行政との連携強化

以上を理事、支部役員はじめ、すべての組合員と関係各位のご支援・ご協力をいただきながら推進してまいります。

情報は掴み取る気概で組合『事報』やホームページ、メール、ファックス等にご注目いただき1年間よろしくお願ひ申し上げます。

以上

京都府電機商業組合  
理事長 牧野 伸彦